

栗原圏域の取組状況について

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所

＜計画期間で対応が必要な取組＞

1 人材育成及び関係人口の拡大

(1) ふるさと教育やシビックプライドの醸成等による人材育成

シビックプライド醸成セミナー（県・市）

- ・栗原管内の観光関連産業従事者等を対象として、地元の魅力を再確認するセミナーを開催した。



セミナーの閉講式

(2) 農泊の推進や大学ゼミ合宿等誘致の取組等による関係人口の拡大

①農泊・民泊の開業支援と経営支援（県）

- ・開業志向者の掘り起こしにつながるイベント等を開催した。

②関係人口拡大プロモーション事業（県）

- ・若年層（大学生・専門学校生等）を対象として、地域の企業や団体と連携した「課題解決型合宿」やお手伝い型の体験イベントを実施した。

くりはら市民まつりでの
お手伝い体験

2 地域経済に好循環をもたらす「滞在型観光」の推進と情報発信

(1) 豊富な体験プログラムや体験学習等による「滞在型観光」の推進

①令和4年度・令和5年度 観光庁補助事業（県）

- ・栗原地域の豊かな自然を活用したアドベンチャートラベル商品等を造成した。また、インバウンドに向けた商品改良及び販路基盤整備を進めている。

②地域再生マネージャー事業（ふるさと再生事業）（市）

- ・アドベンチャートラベルの推進体制と仕組みの構築をベースに、アクティビティやイベント、ツアー（旅行商品）等の調査と開発、専門家の支援を受けた食に関する（製品）開発を実施している。



グラベルライド

(2) SNSやYouTube等の動画サイトを活用した情報発信による訴求力の強化

①SNSによる情報発信

- ・「ございんくりはら」のタイトルで公式ブログやInstagram等により、様々な管内の魅力を情報発信している。（県）
- ・公式フェイスブック、Instagram等により「#栗原の宝箱」をつけて市内のイベントや観光情報等を発信している。（市）

②インスタグラムフォトキャンペーンの開催

- ・「#くりはらんちフォトキャンペーン」

周遊促進に向け、管内の飲食店等で購入（飲食）した飲食物の写真投稿キャンペーンを実施した。（県）

- ・「#カラフルクリハラフォトキャンペーン」

栗原の認知度向上及び観光客増加に向け、栗原市の魅力を発見・発信してもらう写真投稿キャンペーンを実施している。

（市）



#くりはらんちフォト
トキャンペーン

<中長期的な対応が必要な取組>

1 サステナブルツーリズム（持続可能な観光）の推進に向けた体制の確立

（1）行政、観光関連事業者に加え、地域が連携・協力した持続可能な推進体制の確立

①栗原市観光戦略会議の設置（市）

- ・栗原市の観光振興を横断的に推進するため、観光関係事業者、観光関係団体、行政などで構成される戦略会議を令和5年9月に設置・開催し、関係機関との情報共有を図った。次回は、令和6年1月の開催を予定している。

②岩手・宮城県際広域観光研究会（県・市）

- ・岩手県と宮城県との県際地域における広域観光の推進を図るため、平成22年に「岩手・宮城県際広域観光推進研究会」を設置し、「岩手・宮城県際マルシェ」の開催やイベント等において、観光情報発信を連携して行った。

2 魅力ある広域観光ルートの構築

（1）旅行者ニーズを的確に捉えた、観光資源の発掘・資源の磨き上げと広域観光ルートの構築

①4市町連携事業（栗登一平）（市）

- ・栗原市、登米市、岩手県一関市、平泉町での広域連携による滞在型観光を推進している。

②ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議（市）

- ・栗原市、岩手県一関市、秋田県湯沢市、東成瀬村での栗駒山を中心とした連携協定による周遊観光を推進している。

③栗駒山麓ジオパーク事業（市 ※事業主体：栗駒山麓ジオパーク推進協議会）

- ・栗駒山麓ジオパークのジオサイトを活用したロングトレイルコースの設定とプログラム造成や、栗駒山麓ジオパーク特産商品「栗駒山麓のめぐみ」のおいしさの理由を物語にした、地域食材を活用した体験型コンテンツの造成を推進している。

④岩手・宮城県際広域観光研究会（県・市）【再掲】

- ・「南いわて・北みやぎドライブマップ」による広域周遊観光を推進している。



ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議の取組



岩手・宮城県際広域観光研究会の取組